

報告事項ウ

倉吉東高等学校の国際バカロレア認定に係る確認訪問について

倉吉東高等学校の国際バカロレア認定に係る確認訪問について、別紙のとおり報告します。

令和4年9月8日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

倉吉東高等学校の国際バカロレア認定に係る確認訪問について

令和4年9月8日
高等学校課

倉吉東高校への国際バカロレアディプロマ・プログラム（IBDP）の導入については、令和4年度認定校認定（令和5年度一期生入学）を目標に、必要な人材育成、教育課程の検討、施設設備の整備等を進めているところ。この度IBDP認定校となるための準備状況を最終確認するため、国際バカロレア機構担当者による確認訪問が行われましたので報告いたします。なお、確認訪問から約1か月半程度で（10月中旬）認定の可否決定がなされる見込みです。

1 国際バカロレア（IB）教育導入に係る認定プロセスの概要について

- ・令和元年度 7月 関心校表明 3月 候補校申請
- ・令和2年度 4月 候補校認定 12月 コンサルタント訪問
- ・令和3年度 10月 コンサルティング修了 1月 認定校申請

2 確認訪問について

「プログラム認定校申請書」が受理された後、国際バカロレア機構IB訪問チーム2名が倉吉東高を訪問し、2日間かけて、IB認定校となる準備が整っているかの最終確認を行う。

(1) 訪問目的

- ・学校が認定に必要なすべての要件を満たしたことの確証を得る。
- ・要求されているレベルを超えて実践されている事項、または今後その進展を推し進めることにより、IBプログラムの効果的な実施に資すると思われる事項を確認。

(2) 日 時 令和4年8月30日（火）午前8時から31日（水）午後4時15分まで

(3) 参加者 訪問団 西澤 緑（西ピー教室）、松崎 秀彰（茗溪学園中学校・高等学校）

県教委 酒井参事監兼高等学校課長、福本教育企画室室長、蓑原係長、秦指導主事

倉吉東高 福光校長、三谷副校長、竹中教頭、宋DPC（ディプロマ・プログラム・コーディネーター、倉東教員）、各教科担当教員、図書館司書等

(4) 訪問内容 校長、DPC、IB科目担当教員及び県教委との面談、生徒、保護者との面談等。

<県教委と訪問団との主な質疑応答> Q：訪問団、A：県教委

Q1 国際バカロレアの魅力とは何か、鳥取県が導入に至った理由を教えてください。

A1 「解のないことがらについて探究すること」は学びとして価値がある。そのような探究活動を経験した生徒や、思考の枠組みを学んだ生徒たちが出てくることに期待している。国際バカロレアの普遍的な価値を倉吉東高校から全県に普及したい。

Q2 県外からの希望生徒に対し、どのように対応するか。

A2 県外からの受入れももちろん検討する。生徒の寮などについても私立学校とも協定を結んでおり、前向きに検討している。他地域の生徒との交流から多様な視点をすることもできる。

Q3 学校と県教委とのコミュニケーションは円滑か。

A3 学校で定期的開催されるIB推進委員会に事務局からも参加している。それ以外にもDPCが事務局を訪問し協議を行うなど、必要に応じて情報及び意見交換を行う場を設定している。

Q4 国際バカロレアに必要な施設・設備の整備や物品の購入について、十分な配慮があるか。

A4 他校との折り合いを考えながらも、可能な限り対応している。

Q5 長期的な支援体制は用意されているか。

A5 令和8年度まで（今後5年間）の概算要求計画を作成し、財政当局とも協議している。

Q6 IB教育を指導する教員の人材確保及び人材育成について配慮がなされるか。

A6 予算上もワークショップ等への参加や研修機会を保障し、新たに指導できる人材を増やせる手立てを行っている。科目「言語習得」担当者（外国人教員）の採用に向けての準備も進めている。

(5) 確認訪問後 訪問者等が作成したレポートが国際バカロレア機構に提出され、約1か月半程度で（10月中旬予定）、認定可否の結果が学校に届けられる。

3 今後のスケジュール（予定）

令和4年度内

- ・IBコースの内容（カリキュラム等）の確定
- ・「認定校」認定（令和4年10月中旬予定）
- ・ネイティブ教員（科目「言語習得」担当教員）の確保
- ・高校生国際バカロレアフォーラム（令和4年11月20日（日）くらし未来中心で開催予定）

令和5年度

- ・IBコース一期生入学（令和5年度）

【国際バカロレア教育導入事業】＜認定要件等について＞

別紙

改善箇所等	認定要件等	改善内容等※赤字：認定要件
図書館棟	試験保管用金庫室の整備	図書棟をバカロレア拠点と位置づけ、IB職員室と教室を整備する。 認定に必要な全世界で共通のテストを保管する試験保管用金庫室を整備する。 【改修前】研修室等（図書館棟2階） 【改修後】IB職員室、IB教室(3室)、 試験保管用金庫室 ・普通教室にはホワイトボード設置
創作・交流ホール	個別練習ブースの設置	認定に必要な音楽授業で使用する防音の個別練習ブースを整備する。 【改修前】ミーティング室、器具庫（交流創作ホール） 【改修後】音楽授業の 個別練習ブース （5室、防音対応）
化学教室	化学室の安全設備整備	化学室に、認定に必要な安全性要件を満たす改修を実施する。 ・ガス元栓一を変更し一括消火を可能とする。 ・シャワーブースの設置（化学実験中の事故対応） ・ドラフトチャンバーの排気口の設置
視聴覚室 社会科教室	—	IBコースに係る授業の増加に伴う教室不足を解消する。 ・視聴覚室、社会科教室をそれぞれ可動式のパーテーションで2分割可能にする。 ・ホワイトボードを追加設置。
全教室	Wifi設備完備	IBコースの授業では、個人がパソコン等の端末を使用して調べ学習等を日常的に行うため、 IB生が使用する教室全てにWifi環境を整備 する。
試験室	防音設備の整備	IBの最終試験は3年次11月に約3週間に渡って実施され、IB生は、IBコース以外の生徒と全く異なる時間帯で平日の朝から夕方まで試験を受けることとなり、また外国語のリスニング及びスピーキングの試験等での配慮も必要になることから、試験室の防音設備を整備する。
IB担当教員	継続的な人材確保	転勤等も踏まえ、ワークショップへの参加や研修機会を保障し、新たに指導できる人材の確保及び育成を行うとともに、IB科目の改訂（約5年ごと）にあわせてワークショップに参加しIB教員資格の更新を行うことが義務付けられているため、これらに必要な予算計上を行う。